

令和6年度 事業所における自己評価結果

事業所
名 放課後等デイサービス ちょあ平塚
従業者
評価対
象者数
注記

公表
日

回答
8 者数

8 回答率

100.0%

No.	チェック項目	はい	いいえ	はい率	工夫している点	課題や改善すべき点
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	75.0%	人数に応じて活動場所を分ける等の工夫をしている。	活動内容によっては狭さを感じるため、物品整理や空間の使い分けが必
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である	7	1	87.5%	基準を満たす配置を行っている。	休暇や急な欠勤時でも余裕を持てる配
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害特性に応じた環境上の配慮が適切になされている	6	2	75.0%		
4	生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、活動に合わせた空間となっているか。	7	1	87.5%		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	3	62.5%		
6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか。	5	3	62.5%	職員間で随時話し合いを行っている。	全職員が参加して振り返る時間を確保する必要がある。
7	保護者向け評価表により保護者等の意向を把握する機会を設け、その内容を業務改善につなげているか。	5	3	62.5%		
8	職員の意見等を把握する機会を設け、その内容を業務改善につなげ	5	3	62.5%		
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8	0.0%		第三者評価は未実施。必要性を検討す
10	職員の資質向上のため、研修を受講する機会や法人内研修の機会が確保されているか。	6	2	75.0%		
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	6	25.0%	支援内容の整理を進めている。	5領域との関連を明確にした支援プログラムの公表を進める。
12	個々のこどもにアセスメントを行い、こどもと保護者のニーズや課題を分析した上で個別支援計画を作成しているか。	7	1	87.5%		
13	個別支援計画作成時に、児発管だけでなく支援に関わる職員が共通理解の下で検討しているか。	5	3	62.5%		
14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われてい	5	3	62.5%		

15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールや日々の行動観察等により確認しているか。	5	3	62.5%		
16	個別支援計画に、本人支援・家族支援・移行支援・地域支援等を踏まえた具体的支援内容を設定しているか。	5	3	62.5%		
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	3	62.5%		
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	3	62.5%	季節活動や制作、運動等を取り入れ	活動が固定化しないよう選択肢を増や
19	こどもの状況に応じ、個別活動と集団活動を組み合わせて支援して	7	1	87.5%		
20	支援開始前に職員間で打合せを行い、支援内容や役割分担を確認し	5	3	62.5%	送迎・利用予定等を確認し役割分担	全職員が確実に共有できる方法を整え
21	支援終了後に職員間で振り返りを行い、気付いた点等を共有してい	4	4	50.0%		
22	日々の支援記録を徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	87.5%		
23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを適切に行っ	7	1	87.5%		
24	ガイドラインの基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	2	75.0%		
25	こどもが自己選択・自己決定する力を育てる支援を行っているか。	6	2	75.0%		
26	相談支援事業所や関係機関との会議に、こどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	2	75.0%		
27	保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	75.0%		
28	学校との情報共有・連絡調整を適切に行っているか。	7	1	87.5%		
29	就学前に利用していた保育所・幼稚園・児童発達支援事業所等との情報共有に努めているか。	5	3	62.5%		
30	学校卒業後に障害福祉サービス等へ移行する場合、必要な支援情報を提供する体制があるか。	4	4	50.0%		
31	地域の児童発達支援センター等と連携し、助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	5	37.5%		
32	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	37.5%	公園等で地域との接点を持つことがある。	地域交流・体験会等の機会を増やしたい。
33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	5	37.5%		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	87.5%		
35	家族支援プログラムや家族が参加できる研修・情報提供等を行って	3	5	37.5%	個別相談には対応している。	保護者向け研修や情報提供の機会を増
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を	7	1	87.5%		
37	個別支援計画作成時に、こども・家族の意向を確認する機会を設け	7	1	87.5%		
38	個別支援計画を示しながら支援内容を説明し、保護者の同意を得て	7	1	87.5%		

39	家族からの子育ての悩み等の相談に応じ、面談や必要な助言・支援を行っているか。	7	1	87.5%		
40	保護者会等を開催し、保護者同士やきょうだい同士が交流する機会を設けているか。	2	6	25.0%		保護者会等、保護者同士が交流する機会を設けられていない。
41	こどもや保護者からの苦情への対応体制を整備し、迅速かつ適切に対応しているか。	7	1	87.5%		
42	通信・HP・SNS等を活用し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信しているか。	5	3	62.5%	HUG等で連絡・情報共有を行っている。	活動写真や職員紹介等、より分かりやすい発信を継続する。
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	100.0%		
44	障害のあるこどもや保護者との意思疎通・情報伝達のための配慮を	7	1	87.5%		
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	25.0%	地域の公園や行事を活用することがある。	地域住民と直接交流する企画を検討する。
46	事故防止・緊急時・防犯・感染症対応等のマニュアルを策定し、周知・訓練を実施しているか。	6	2	75.0%	各種マニュアルを整備している。	保護者への周知と職員間の定期確認を強化する。
47	業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害に備えた訓練を行っている	5	3	62.5%	BCPを整備し訓練を行っている。	避難先・避難方法を保護者へより明示
48	服薬・予防接種・てんかん発作等のこどもの状況を事前に確認して	7	1	87.5%		
49	食物アレルギーのあるこどもについて、必要な指示に基づき対応し	6	2	75.0%		
50	安全計画を作成し、研修・訓練等の安全管理に必要な措置を講じて	5	3	62.5%		
51	安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	4	50.0%	安全計画に沿って安全管理を行って	保護者への周知方法を分かりやすくす
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止策を検討しているか。	7	1	87.5%		
53	虐待防止のため、職員研修等の適切な対応を行っているか。	6	2	75.0%	虐待防止研修を実施している。	全職員への継続的な研修受講を徹底す
54	やむを得ず身体拘束を行う場合について組織的に決定し、事前説明・同意・計画への記載等を行う体制があるか。	6	2	75.0%		